

令和7年度 入学式

式辞

新緑が鮮やかな春爛漫の本日、ここに第42回入学式を挙行できますことは大きな喜びであります。

ご来賓の皆様、並びにご家族の皆様をお招きできましたことも、大変うれしく思います。本日はご列席を賜り、誠にありがとうございます。教職員を代表いたしまして、皆様に心から御礼申し上げます。

ただ今入学を許可いたしました145名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今年の新入生の特徴は、日本人と外国人の学生がほぼ半々で構成されていることです。皆さんの入学を心から歓迎いたします。

本校は、その前身を「埼玉電子工学院専門学校」とし、埼玉県知事の認可を受け、1984年に開設されました。その後、校名を「東都コンピュータ専門学校」から現在の「埼玉コンピュータ&医療事務専門学校」に改称し、今年で42年目を迎える県内で最も伝統ある専門学校です。

本校は、文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認定を受け、企業と連携した実践的な教育を展開し、これまで優れた人材を多数輩出してまいりました。

新入生の皆さんは、5つの専門分野でそれぞれの基礎をしっかりと学び、これからの社会を支えるスペシャリストとして、現場で役に立つ能力を身に付けていただきます。就職については、皆さん一人ひとりの個性に合わせ、担任とキャリアセンターが一体となって、きめ細やかに支援してまいります。

さて、私たちを取り巻く社会は、絶えず変わり続け、予測不能な未来が待っています。AIの出現により、学び方や働き方も大きく変わろうとしています。世界情勢や世界経済は不安定を極めています。地球温暖化と自然災害は一向に歯止めが効きません。少子高齢化が急速に進行し、それに伴い、海外から多くの人材が入国しています。

これまでの閉鎖的な社会は終わりを告げようとしています。人種、国籍、性別、文化といった、異なる価値観と多様性の中で生きていくことが求められています。違うことが当たり前、それぞれが異なる価値観を持つのが当たり前の世界になりつつあります。むしろその違いにこそ意味があり、お互いに受け入れながら、新たな価値を作り出していくことになるでしょう。

このように多様性に溢れる世界を生きる上で、最も大切になるのが「生きる力」です。変化を前向きに受け止め、今、自分に何ができるのかを主体的に考え、行動する力こそ「生きる力」と言えるでしょう。それは、学力や健康のみに依存する力ではありません。多くの選択肢がある世の中で、自分らしく生きるためには、幅広い能力を複合的に養う必要があります。

そこで、これから本校の学生となる皆さんに、約束してほしいことが3つあります。

1つ目、授業を大切にすること

学校の基本は授業です。知識を養うためには、先生方の指導を素直に受け入れ、自ら学びに向かう姿勢が求められます。各自がしっかりと目標を設定し、卒業までの2年間、初心を忘れず、積極的に授業に取り組みましょう。

2つ目、周りの人と仲良くすること

本校は、少人数でアットホームな雰囲気が魅力の学校です。学生と先生の距離が近く、親しみやすいという声をよく耳にします。これからは国際性豊かな環境の中で、友人や先生と交流を深め、多様な価値観を肯定的に捉える人間として、協調性としなやかな精神を磨きましょう。

3つ目、学校を休まないこと

自分らしい人生を送るためには、心と体の健康は欠かせません。学校の時間割に合わせて、きちんと過ごすことは、健康的な生活リズムを形成するうえで、大変重要です。留学生の皆さんは、在留資格の関係もあり、この点は特に気を付けましょう。規則正しい生活習慣を身に付け、信頼される社会人としての基盤を築きましょう。

以上、3つの約束をお願いしました。皆さん1人ひとりが人生の主演です。自分の持てる力を最大限に発揮し、自らの道を切り拓いてください。

最後に、新入生の皆さん、今日から新しい学生生活が始まります。今日という日が皆さんの輝かしい未来の第一歩となることを願い、式辞といたします。

令和7年4月11日

埼玉コンピュータ&医療事務専門学校 校長 高野庸夫